

○ 本校の概要

○児童数 338名 ○学級数11学級（令和6年5月1日現在）
○教育目標「心やさしくしょうぶな子」「進んでやりぬく子」「よく考え工夫する子」
○学校経営の基本方針「子供たちがわかる楽しさや まなぶ喜びを感じられる授業をめざし、子供たちに確かな学力の定着を図る。」「体力の向上を図るとともに、基本的生活習慣を身に付け、心身ともに健やかな子供たちの成長を支援する。」
○本校の特色 ・千鳥スタンダードの実践・ロング昼休み（月1回）の励行・学校支援地域本部（チーム千鳥地域協力隊）の支援を受けた教育活動の充実

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	方向性	取組内容	取組指標	取組評価	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄		
								評価人数	コメント	
生予個 き測別 る困目 力難標 をな1 育未成 来社 会を 創造 的に	社会の様々な課題を自分事として捉え、主体的に考え、他者と協働し、問題解決していく意欲や、予測困難な未来社会を切り拓いていくために重要な創造力や課題解決力、情報活用能力を育成します。	①STEAM教育等の教科等横断的な学びや科学教育を推進し、課題解決力や新たな価値を創造する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3	◆児童アンケート「タブレットを使って考えをまとめたり、友達と一緒に学習したりできる」「生活や学習の振り返りを通して、自分の良さや課題に気付くことができる」 ◇学校評価保護者アンケート「学校は、学力の定着と学習意欲の向上に向けて、ICT機器を効果的に活用している」の質問に、肯定的な回答をした割合80%	4: 全て90%以上	・次年度の本格的な実施に向け、大田区独自の教科「おおたの未来づくり」を校内研究のテーマとして、全教員で取り組んだ。「地域の創生」で、千鳥北町会のためにできることを課題にしたことで、こどもたちだけでなく、保護者も地域や学習内容について高い関心が寄せられた。課題解決に向けて、6年生は充実感をもって取り組んでいる。 5年生はプログラミングに取り組み、企業やICT支援員から支援を受け、他者意識をもってゲーム作りに取り組んだ。 ・魚食やジャイアンツアカデミー、しょうゆの知り博士など様々なゲストティーチャーをお招きして、体験的な学習の充実を図った。 ・タブレット端末の活用はどんどん頻度が高くなってきている。連絡帳の代替に活用したり、調べたりまとめたりするために文房具的に使用したりして、活用能力は高くなってきているが、一方、情報モラルの育成には課題がある。また、端末機器の故障やその交換がスムーズに行われていない点は、改善しなければならない。台帳管理を丁寧に、区と連携して、迅速な対応に努める。	A	8	・6年生は自分たちの目線で課題を見つけ出し、よく考え、意見交換を経て解決までの道筋を立てていました。正直ここまで考える力をもっているとは驚きました。これからも養っていった欲しいと思います。
		②学校内外での様々な体験活動や自己評価する習慣づくりを推進し、自ら考え判断する力や、他者と協働していく力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3.2		3: 全て80%以上		B	2	・今回授業を一緒にやることでこどもたちはとてもよく考えているな、将来が楽しみだと感じた。自分達大人にできることは見守っていることが大切だと感じた。
		③情報技術を適切に活用した授業の実施を通して、情報活用能力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3.1		2: 全て70%以上		C	0	・校内活動だけでなく、校外にもより目を向けて活動いただければと思います。 ・タブレットについては、消極的にならず、どんどんやっていった方がこどもたちの将来のために良いと思います。
		④児童一人一人の良さや可能性を引き出す教育活動を行っている。	4:「おおむね行った」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむね行った」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむね行った」と回答した。 1:「おおむね行った」と回答した教員が60%未満であった。	3.3		1: 全て70%未満		D	0	・大変よくやっている。 ・地域とともに進んでいる活動が見受けられ、千鳥小学校の特徴が出ている。
お世個 お界別 たと目 をつ標 担な2 うが 人 材国 を際 育都 成市 し ま す	英語での実践的なコミュニケーション能力を高めるとともに、我が国や郷土の伝統文化に触れ、尊重する心や、協力していく態度を育成します。また、国際社会・地域社会に関心をもち、持続可能な社会を形成していく態度を形成します。	①外国語教育指導員の活用などにより、英語に慣れ親しみながら会話をする機会を増やし、英語力やコミュニケーション能力の向上、豊かな国際感覚の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3.2	◆児童アンケート「地域の行事に参加したり、よりよい地域になるように行動したりしている」 ◇学校評価保護者アンケート「学校は、地域の特色を生かした教育活動を積極的に行っている」の質問に、肯定的な回答をした割合80%	4: 全て90%以上	・外国語教育指導員を活用することで、ALTと綿密に計画をして、授業を行うことができた。ペーパーだけでなく、パフォーマンステストなども行い、適宜な評価も並行して行うことで、こどもたちの英語力やコミュニケーション能力の向上につながった。 ・英語カフェは、ALTが出身国の遊びを取り入れたり、活動的な内容をしたりと工夫したことで、年間を通して参加する児童が増え、異文化交流の一助にもなった。また、英語カフェは、全学年が平等に参加できるように、計画的に割り振り、授業が終わったらそのまま、一緒に英語カフェに参加できるよう配慮した。 ・持続可能な社会の創り手を育むために、6年生の3学期は、特に社会科や理科では、これまでの学習を生かして、国際社会が抱える問題の解決に向けて、日本の役割を具体的に捉え、広い視野から思考・判断できるよう指導していく。 ・4年生が、実際にこどもたちのためにボランティアをするチーム千鳥の方の話を伺い、感謝の気持ちや関心を	A	6	・積極的に授業に参加する児童とそうでない児童とで差があるように見えます。消極的な児童により目を向けていただければありがたいです。
		②我が国や郷土の伝統や文化の学習、人権教育を推進し、自分とは異なる文化や価値観をもつ相手を理解し、互いに尊重し合う心の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3.2		3: 全て80%以上		B	4	・こどもたちも楽しく参加できそうな授業でとても良いと思います。 ・英語カフェは、英語をより身近にする、よいテキストだと思います。
		③現代社会における地球規模の課題を自分事として捉え、その解決に向けて考え、行動する力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	2.8		2: 全て70%以上		C	0	・インバウンドの拠点ともなる羽田空港を要する大田区をリードすべく、国際感覚を身に付けさせる千鳥小学校の活動として、ALTやチーム千鳥と連携を推進しているのは素晴らしい。
		④家庭・地域・関係機関との連携を通して、地域力を生かした特色ある教育活動を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3.4		1: 全て70%未満		D	0	
た一個 め人別 のひ目 基と標 礎り3 とが な個 性力と を能 育力 成を を発 揮する	児童・生徒が豊かな人生を生きていく上で基礎となる力として、豊かな心や確かな学力、健やかな体を育成します。また、乳幼児期から中学校までの一貫性のある教育を推進します。	①道徳科を中心とした各教科等での学習などを通じて継続的に道徳教育を実施し、豊かな情操や道徳心の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3.1	◆児童アンケート「いろいろな人にすすんであいさつしている」「運動が好きで、すすんで体を動かしている」「『早寝早起き朝ごはん挨拶宿題できたかな』を守り元気に生活しようと思っている」 ◇学校評価保護者アンケート「学校は、こどもたちの体力向上を目指した取り組みを展開している」「『早寝早起き朝ごはん挨拶宿題できたかな』の規則正しい生活習慣を意識しながら生活している」の質問に、肯定的な回答をした割合80%	4: 全て90%以上	・今年度の道徳授業地区公開講座に向けて、保護者アンケートを実施し、保護者参画型講演会を企画、家庭と学校、地域が協力して豊かな情操と道徳心の育成を図っていく。 ・少人数での算数力アップ教室や夏休み中のぐんぐんスクールは学習習慣を身に付けたり、基礎的な学力を培ったりする場となった。回数を増やすなど次年度に向けて拡充を検討する。 ・食育は毎月、朝の時間を使って計画的に指導した。今年度はゲストティーチャーや、栄養士による食育授業も多く実施することができた。5年ぶりの給食試食会も大変好評で、保護者の給食に対する理解を促す機会となった。 ・作品展に保育園3園を招待。園児にとって小学校入学に向けて大きなモチベーションとなった。2月1年生との交流も予定されている。6年生は中学校の部活体験や「七中へ行こう」の参加を通して、進学へのイメージをもつことができた。 ・児童が、「すすんであいさつしている」の項目を肯定的に捉えている一方、保護者の「早寝早起き朝ごはん挨拶宿題できたかな」への評価が低い。繰り返し、様々なアプローチで基本的生活習慣の定着を図っていく。	A	7	・算数力アップは、本当に時数を増やした方が良いと思う。週1回では、今一つ力が付かないのではないのでしょうか。 ・今年度の食育は大変充実していた。
		②学習習熟度に応じた指導や個に応じた学習支援、各種検定の実施を通して、すべてのこどもに確かな学力の育成を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3.1		3: 全て80%以上		B	3	・千鳥のこどもたちは本当によくあいさつをします。 ・宿題や提出物忘れが多いので、タブレットで忘れ物チェックできる仕組みにできないだろうか。
		③体育や保健体育の授業など様々な機会を通して、健康教育や食育を推進し、基本的な生活習慣の確立を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3.5		2: 全て70%以上		C	0	・地域・家庭と協力して、一人一人の児童の人格形成に資することは、日々の活動として大変であると思われますが、一層の向上を望みます。
		④乳幼児期から中学校まで円滑な接続を行うため、保幼小の連携や小中一貫の視点に立った教育を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3.2		1: 全て70%未満		D	0	・作品展は素晴らしいものでした。
		⑤教育活動全般を通して、規範意識の確立を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3.4		1: 全て70%未満		D	0	・校庭の規模が児童数に合っていて、よく遊んでいる。

学 校 別 力 目 ・ 標 教 師 力 を 向 上 さ せ ま す	校内研究等のOJTの充実を通して、教師の授業力を向上させます。また、質の高い教育を実現するため、学校の組織的な運営力を向上します。あわせて、教師がやりがいをもって働くことができる魅力的な環境づくりを進めます。	①児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の視点による授業改善を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3.2	◆児童アンケート「授業で学習したことがよくわかる」◇学校評価保護者アンケート「教員は、分かりやすい授業のために工夫をしている」の質問に、肯定的な回答をした割合80%	4: 全て90%以上	4	・個別最適な学びを保証するためにタブレット端末の活用をさらに充実させたい。ICT支援員を一層有効的に活用したい。協働的な学びのために新しいアプリケーションソフトの活用を熱心に行い、教員間での情報交換も積極的に行われた。 ・教職員が積極的に地域の行事に参加し地域のサポート力に触れる機会が多くあった。その経験を次年度以降の「未来づくり」科に生かしていきた。 ・校内研究やOJTを通して授業力の向上を図っているが、時間の確保が課題だった。次年度はもう少し計画を立て、進めたい。 ・教師の業務負担を軽減するための教員支援員や効率的な事務スタッフの配置を受け、教職員の業務適正化を進め、児童と教員が向き合う時間を作ることができた。児童にとっても様々な立場の方と関わることは大変有意義なことだった。	A	9	・授業等、日々の教育活動での準備から指導まで工夫されていることには、頭が下がります。 ・一社会人として、これからの職業人として、PCスキルは必須で、積極的な活用を進めてほしい。 ・地域の方もこどもたちと触れ合える機会が多いと喜びます。校長先生を筆頭に町会に顔を出していただき、感謝しています。
		②教職員がそれぞれの専門性を生かしたり、地域の特色を生かしたりして教育活動を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3.2		3: 全て80%以上			B	1	
		③教職員の業務適正化等に取り組み、児童・生徒に教員が向き合う時間を確保する等、ウェルビーイングを高める取組を行っている。	4:「おおむね高まっている」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむね高まっている」と回答した。 1:「おおむね高まっている」と回答した教員が60%未満であった。	3		2: 全て70%以上			C	0	
		④校内研究やOJT,日々の教員間の指導を通して、授業力の向上を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3.5		1: 全て70%未満			D	0	
た 自 個 め 分 別 の 目 学 し び く 5 を い 支 き 援 い き ま す と 生 き る	困難のある児童・生徒一人ひとりの状況にあわせて教育環境を整えるとともに、相談機能の充実を図ることで、すべての児童・生徒が自分らしくいきいきと生きるための学びを支援します。	①インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携等を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3.2	◆児童アンケート「自分や友達のことを大切にすることができる」「学校生活はたのしい」◇学校評価保護者アンケート「学校は、こども一人一人を大切にしたい教育を行っている。」の質問に、肯定的な回答をした割合80%	4: 全て90%以上	4	・学期に2回派遣される発達障害アドバイザーから全教員が教育のユニバーサルデザインについての研修を受けることができたことは大変有意義だった。巡回心理士やSCからの助言を受けて困難のある児童の状況にあわせた教育環境の整備に努めた。 ・特別支援教室巡回指導教員と丁寧に連携を図り、児童理解に努め、指導の改善につなげた。 ・学校生活アンケートやWeb-QUアンケートを実施し、気になる児童については聞き取りを実施した。今後も児童が安心できるよう個別に対応していく。 ・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携し、児童や保護者が相談しやすい環境を整備することができた。教員も児童や保護者からの相談に丁寧に対応するよう連携を図った。	A	8	・インクルーシブ教育では、細かく配慮した連携が大事で、大変ではありますが、日々の推進に感謝します。 ・先生以外に、支援する人がもう少しいると、一人一人がよく見てもらえるのではないかな。
		②学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している。	4:「組織的な対応ができた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満の教員が回答した。 2:60%以上80%未満の教員が回答した。 1:「組織的な対応ができた」と回答した教員が60%未満であった。	3.2		3: 全て80%以上			B	1	
		③スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携等、児童・生徒・保護者が相談しやすい環境を整備し、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばすことを意図した指導や支援を行っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3.4		2: 全て70%以上			C	1	
		④教員は、学校経営への参画意識を持ち、「児童のため」という視点を大切にしながら、職務を進めている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3.7		1: 全て70%未満			D	0	
安 柔 個 心 軟 別 な で 目 教 創 標 育 造 6 環 的 境 な を 学 っ く 空 り 間 と 安 全 ・	学校施設について、ICT環境等の教育環境の整備を推進するとともに、児童・生徒の安全・安心を向上させるための教育を推進します。	①学校や地域の伝統・特色や、安心・安全な学校生活づくりを踏まえて、学習環境を整備している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3.2	◆児童アンケート「地震や火事があつたら、どんな行動をすればいいかわかる」◇学校評価保護者アンケート「学校は、快適で安全な学校環境づくりに努めている」の質問に、肯定的な回答をした割合80%	4: 全て90%以上	4	・児童の実態や個々の状況に即した避難訓練を柔軟に計画し、実施することができた。3学期は告知なしの訓練を行い、主体的に行動できるよう指導していく。 ・毎月安全点検を行い、環境整備に努めた。チーム千鳥の多大な協力のおかげで体育倉庫や理科室の環境整備が行われた。 ・今年度矢口特別出張所が中心となって水害の防災拠点訓練を行った。連絡会議で協議を重ね、非常時に備えたい。PTA役員の訓練参加に留まらず、安全教育につなげていきたい。 ・新聞を有効活用したり、読書学習司書による授業支援を充実させたり、「大きな木の会」による読み聞かせを行ったりして、読書の習慣化を図った。	A	7	・地震の予測数値も昨今80%とアップしているので、より一層の児童への意識付けをお願いします。 ・役員ではない保護者も人数制限の上で、防災拠点訓練に参加してほしい。 ・読書学習司書の先生が、本当にいろいろと考え、工夫していただき、こどもたちが本に近付くことができた気がします。
		②避難訓練や安全指導日などを通して、危険や災害に対する教育を関係機関と連携しながら進めている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3.6		3: 全て80%以上			B	3	
		③図書室の整備や朝の読み聞かせ、授業での活用等を通して読書の習慣化を図っている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3.5		2: 全て70%以上			C	0	
						1: 全て70%未満			D	0	
学 地 学 校 校 別 を コ ・ 目 つ ミ 家 標 ク 庭 7 リ ン ・ ま テ 地 域 の 核 連 と 携 し ・ て 協 働 に よ る	地域コミュニティの核としての学校づくりや地域の特色を生かした学校づくりを進めるとともに、学校・家庭・地域が連携・協働して、地域社会全体でこどもたちを育成します。	①「地域コミュニティの核としての学校づくり」を目指して地域と学校が連携・協働した様々な活動を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3.2	◇学校評価保護者アンケート「学校は、おたよりや学校ホームページ、学校公開等により、教育活動の様子を伝える努力をしている」「学校はチーム千鳥等の地域人材や施設を活用した教育活動に努めている」の質問に、肯定的な回答をした割合80%	4: 全て90%以上	4	・地域行事にも積極的に教職員が参加し、地域でのこどもたちの様子を知ることができ、地域や保護者とも関わることができた。ホームページで、学校だけでなく地域での様子も紹介できた。 ・見守り活動のおかげで登下校時でのトラブルを未然に防止でき、事故なく登下校することができた。 ・作品展が学校公開と同時に開催だったため、PTAの方に受付や見守りの協力をいただき、無事に運営できた。 ・今年度よりまなびポケットでの配布物の配信に切り替え、定着しつつあるが、全員が見ているのかチェックする必要がある。 ・2学期よりホームページで「今日の給食」のコーナーを作った。家庭での会話の話題になると保護者から嬉しい反応があった。 ・5年に1回の学校・教育総務課・道路管理者・地権者による通学路点検を行い、危険箇所を確認し、具体的な対応を進めることができた。	A	9	・日々、登下校の見守りではチーム千鳥との連携がよくできていて、素晴らしい。千鳥小の一つの特色でもあるので、その有難さを分かち合いたい。 ・PTAの皆さんがやっているパトロールも大変抑止力になっていると思います。感謝です。
		②登下校の見守り活動等の、児童・生徒の健全育成や安全指導に係る取組を地域の協力により実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3.3		3: 全て80%以上			B	1	
		③家庭教育に関する情報の発信やPTAなどと連携した講演会・学習会、またはその双方を実施している。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3.2		2: 全て70%以上			C	0	
		④ホームページや学校・学年便り・保護者会などを通して、保護者や地域に教育活動の様子を伝えている。	4:「おおむねできた」と全教員が回答した。 3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。 2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。 1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。	3.4		1: 全て70%未満			D	0	

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。
○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。
○学校関係者評価の「評価」は、A: 自己評価は適切である B: 自己評価はおおむね適切である C: 自己評価は適切ではない D: 評価は不可能である の4点について、評価